

## 清水家資料について

清水家資料は、平成18年5月寄贈の申し出があり、高遠町図書館にて保存・活用させていただくことになりました。

高遠藩は、幕末の文久3年（1863）城下が大火災に見舞われ、その復興策として弁財天橋（今の天女橋）向こうに、多町・相生町を新設しました。

清水家資料15点は、幕末・明治初めの「多町」に関する御用留帳、宗門人別御改帳などです。

当時清水家の嘉吉が丁代を務めていたことから、清水家に資料が残っていたと思われます。

平成18年12月  
伊那市立高遠町図書館